

議会だより



島本町

第191号（通巻第283号）

発行 島本町議会
編集 議会だより編集委員会

TEL (075)962-6315

FAX (075)962-6322



町立第一小学校5年生による提言の様子（2ページに関連記事）

【令和3年12月撮影】

12月定例会議

11月臨時会議・12月臨時会議

議案の概要……………P2

11月臨時会議、12月定例会議、12月臨時会議で
審議された案件の概要と議決結果

一般質問……………P4

12名の議員が町政の諸課題について問う



議決案



11月臨時会議（11月29日）
12月定例会議（12月13日から15日）
12月臨時会議（12月21日）

の議案の概要と議決結果は次のとおりです。

議案の名称

議案の概要（人事案件については、議会で同意された方の氏名【敬称略】と再任・新任の別、補正予算については、主な項目と金額）

議決の結果

11月臨時会議

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
令和3年人事院勧告の改正内容に準じて改正するもの。

可決（賛成多数）

特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
一般職の職員の給与と改定に伴い、一般職との均衡を考慮し改正するもの。

可決（賛成多数）

令和3年度島本町一般会計補正予算（第7号）
新型コロナウイルスワクチン接種業務

可決（全員賛成）

（2900万6千円）



第一小学校の児童が議場で

ジェンダーギャップに関する

提言を行いました

令和3年12月7日に、島本町立第一小学校の5年生が、人権学習の一環として「ジェンダーギャップ」について調べたことをまとめ、議場で提言を行いました。

子どもたちにとって、普段は入ることのない議場という場所で、学んだことを提言としてまとめて大人に伝えるということとは、体験として大きな意味を持つものになったのではないのでしょうか。

傍聴に来ていた議員は、よく考えられた内容と堂々とした発表に、感心しきりでした。



12月定例会議

固定資産評価員の選任につき同意を求めること
について

北河 浩紀（新任）

同意（全員賛成）

固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意
を求めることについて

上田 秀樹（再任）

同意（全員賛成）

島本町ふれあいセンター及び緑地公園住宅集会所の
指定管理者の指定について

指定する団体 シダックス大新東ヒューマン

サービス株式会社

指定期間 令和4年4月1日から

令和6年3月31日まで

可決（全員賛成）

訴えの提起について

生活保護法第78条に基づく徴収金の請求につ
いて訴えを提起したため。

可決（全員賛成）

島本町国民健康保険条例の一部改正

産科医療補償制度の見直しに伴い、所要の改
正を行うもの。

可決（全員賛成）

令和3年度島本町一般会計補正予算（第8号）

ふれあいセンター空調機更新等工事

（3億8000万円）

高槻島本夜間休日応急診療所負担金

（557万円）

ふるさと島本応援寄附金支援業務

（761万3千円）

小学校屋内運動場空調整備設計業務

（523万6千円）

中学校屋内運動場空調整備設計業務

（268万4千円）

可決（賛成多数）

令和3年度島本町国民健康保険事業特別会計補
正予算（第3号）

可決（賛成多数）

令和3年度島本町後期高齢者医療特別会計補正
予算（第2号）

可決（賛成多数）

令和3年度島本町介護保険事業特別会計補正予
算（第3号）

可決（賛成多数）

令和3年度島本町水道事業会計補正予算（第4
号）

可決（賛成多数）

令和3年度島本町下水道事業会計補正予算（第
2号）

可決（賛成多数）

令和3年度島本町一般会計補正予算（第9号）

子育て世帯への臨時特別給付金

（2億9000万円）

可決（全員賛成）

中華人民共和国による人権侵害問題に対する調
査及び抗議を求める意見書

可決（全員賛成）

北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深
めるための取組みを推進するよう求める決議

可決（賛成多数）

意見書と決議の詳しい内容は、
島本町のホームページを
ご覧ください。↓



12月臨時会議

令和3年度島本町一般会計補正予算（第10号）

子育て世帯への臨時特別給付金

（2億9000万円）

可決（全員賛成）

一般質問

※原稿は、発言した議員の責任において作成しています。



12人の議員が一般質問を行いました。紙面の都合上、要約して掲載します。

財政健全化…国民健康保険財政調整基金残高の妥当性を問う

福嶋 保雄

問 島本町国民健康保険特別会計の財政調整基金残高は、5億円超え。本町規模では、多すぎる。まず、基金残高の推移を問う。

答 年度末基金残高は、平成30年度4億6千万円弱、令和2年度5億5千万円弱。広域化後2年間で実質的な黒字は、6千5百万円強。

問 基金の目的は、財政均衡、財政調整機能と考えるが、町の考えを問う。

答 基金の設置目的は、国保事業の療養給付費等の増加に要する財源及び年度間の財政の調整基金の積立。

問 国保の都道府県単位化に伴い、財政運営の責任主体が都道府県になった。町の基金残高はより少額でよいのではないか。

答 新制度移行後の決算状況も、大阪府は赤字、各市町村で黒字傾

向。安定運営となっておらず、明確に申し上げることは難しい。

問 現在の基金残高は府への納付金財源不足の備え以上の蓄えではないか。会計が黒字の際には、一般会計からの繰入れを減額する等、方策を検討されては。

答 大阪府で制度が安定後も、島本町の黒字化傾向が継続し、決算で大幅黒字が見込まれる場合には、一般会計繰入の一定の調整が必要と認識。例えば、一般会計繰入金額の精算時に、国保財政安定化支援事業に係る繰入れを、実情に即して独自に決定する等、過剰な基金の積立でとまらないように、繰入財源の調整方法について、検討してまいりたい。

その他の質問項目
▼琵琶湖渇水時の対応について問う

島本駅西土地区画整理事業A調整池豪雨災害

戸田 靖子

問 A調整池の柱が豪雨で損傷したのはいつか。完成後移管され、維持管理補修を町が担う公共施設に由々しき事態が起こっている。

答 令和3年8月13日の豪雨により南側の仮排水路がオーバーフローし、調整池掘削箇所

に流入。施工中の調整池が浮かび上がり、埋戻し済みの土砂が調整池と基礎コンクリートの間に流入した。土砂の撤去作業後の点検により、3本の柱にひび割れが発生していたことが判明したと事業者から聞き及んでいる。

問 仮排水路は銚フジタが設置した工事期間中の暫定的な水路か。

答 事業区域外の雨水排水のため組合が設置。調整池の完成後、津梅

原水路第3工区付替工事後に撤去する予定。

問 学識経験者の監修のもと、町への移管に

向けて施工を進められるとのこと。具体的に。

答 学識経験者監修をもとにした品質保証は必要と認識している。具体的な内容は未定。組合に適切に対応いただき移管を受けたい。

問 原因の究明、発災時の対応、再発防止策、修復工事の妥当性、調整池の安全性と防災機能、これらについての検証は第三者の有識者

によるものでなければならぬ。また、そこに町が主体的に参画していなければならぬと思う。瑕疵担保はどのように設定するのか。

答 長年にわたり本町で維持管理が必要になることから、組合と協議を行い、適切に判断してまいりたい。

その他の質問項目

▼新庁舎建設の課題を問う▼ペット霊園設置条例制定を求める

ドッグランの必要性の認識について

中嶋 洵智

問 島本町に限ったことではないが、多くの地域で高齢化、核家族化、また個人の価値観の多様化などによって、住民同士のつながりが希薄になってきている。

地域コミュニティの活性化は急務であり、住民が集まれる施設や場所の整備が求められる。そこで、犬を飼っている方や犬が好きな方が集まれるドッグランを整備してはどうか。まず、島本町における畜犬登録頭数と犬に関する住民からの意見やクレームを問う。

答 狂犬病予防法に基づき犬の登録頭数は令和3年11月末日現在で1084頭。また、犬に関する苦情等は、散歩時のふん尿に関する問合せを毎年10件程度受けている。

問 島本町では約13軒に1軒の割合で犬が飼育されており、犬の散歩

歩をしている姿も多く見受けられる。ドッグランを公園に整備することで犬をめぐる事故やトラブルを防止することができ、安全性、快適性を確保するとともに、人と犬が互いに気持ちよく利用できるレクリエーション空間をつくり上げることが可能と考える。東大寺公園の一角を柵などで囲うことで、比較的安価でドッグランを整備できるが、どう考えるか。

答 ドッグランの整備については、メリット、デメリットの整理や他の公園利用者への影響、あるいは河川管理者と協議の上、河川区域内である当該公園への設置可否など、様々な視点から検討するとともに、近隣自治体の設置状況や、既に設置されている自治体の取組などについても調査し、検証する。

島本町東大寺にある「盛り土」問題の今後について

大久保 孝幸

問 本町の東大寺にある盛り土解消のための今までの取組、今後の予定について伺う。

答 平成20年代後半から堆積が進められたもので、大阪府土砂埋立て等の規制に関する条例に基づき、平成30年4月に実施された大阪府の立入検査により、大阪府条例施行以降に堆積された土砂を全量撤去するよう、大阪府が指導されている。昨年12月頃から少量ずつ土砂の搬出が進められており、府道柳谷線沿いの土砂が減少するなど、一定の対応がなされている。

問 盛り土が大雨などにより大きく崩れる危険性、近隣にお住まいの町民の方への影響をどのようにお考えか。

答 大阪府の指導に従い、崩落防止のための小段の設置やのり面の補強などの対策を実施

土砂の搬出により総量が減少しており、崩落の危険性は一定減少している。土砂を堆積している箇所は府道を隔てて水無瀬川に面しており、近隣住民への影響については、住居への影響が生じる可能性は少ないが、府道や水無瀬川を閉塞することが想定される。

問 この盛り土はどこから運ばれてきたものなのか、また、産業廃棄物等有害物質が混入されている可能性はないのか伺う。

答 詳細は把握していないが、府内公共工事等により搬入した土砂と聞いている。有害物質の混入に関する調査は行われていないものと認識している。

その他の質問項目
▼島本町のたばこポイ捨て現状と対策について

介護保険の改定について

長谷川 順子

問 令和3年8月から、介護保険の「補足給付」制度が改定された。これは介護保険施設を利用している非課税世帯の人の食費、居住費負担を軽減する制度であるが、入所やショートステイの食費負担が約2倍に増え、資産要件も見直された。預貯金額が基準を超えると補足給付を受けられなくなる。町はどう認識しているのか。

答 ショートステイ利用者の食費負担が年金収入等により390円から600円に、650円から1000円または1360円に改定された。補足給付の対象外となり、生活困窮となった場合、特別減額措置及び利用者負担軽減制度事業を案内している。

問 特別減額措置、負担軽減制度の説明を。食費・居住費の特

例措置は、高齢者夫婦世帯で、一方が施設に入所して食費・居住費を負担し、残された配偶者の在宅での生計維持が困難な場合、利用者負担を減額する補足給付を行うもの。利用者負担軽減事業は、サービス利用に係る1割負担と食費・居住費の4分の1が軽減される。

問 本町では何人が影響を受けるのか。

答 町の負担限度額認定件数は152件。施設利用者で影響を受けている実数は不明。

問 補足給付の改定を知らなかった人もいます。どう周知するのか。

ヤングケアラーについて ケアされるべき子どもがケアを求め られる時

永山 優子

高層マンション建設による一時的かつ 急激な人口増は長い目で見たときに人 口維持につながるのか

中田 みどり

道路の安全対策について

川嶋 玲子

問 ヤングケアラーとは、家族にケアを要する人がいる場合に大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポート等を行っている18歳未満の子どものことを言うが、本町の実態把握の状況を問う。

答 要保護児童対策地域協議会において進行政管理を行っている児童のうち把握している児童は4人である。

問 支援を要する児童が相談をした相手でも多いのが教職員である。教職員に対するヤングケアラー問題の研修はどうなっているか。

答 令和3年7月に大阪府教育委員会スクールソーシャルワーカー、スーパーバイザーを講師に招き、講演テーマ「課題を抱える子どもへの対応について」の中で、ヤングケアラーについて取り扱った。

問 家族のケアについて周りに相談をした子どもは全体の4分の1程度。悩みを抱え込む傾向にある。当事者である児童生徒への啓発について、本町の取組はどうなっているか。

答 学期ごとの生活アンケートで家庭での状況把握項目を追加するなど実態把握に努めている。しかし、項目を追加したのは小中学校6校中3校のみで、残り3校でも今後アンケート項目に追加するよう各学校と話したい。

問 ヤングケアラー支援計画策定や条例制定についてどう考えるか。

答 ケアラーの負担軽減は行政として当然の取組だが、現時点でケアラー支援計画策定や条例制定の予定はない。

その他の質問事項
▼日本庭園学会からの提言をめぐって

問 高層マンション建設ラッシュの島本。メリット・デメリットは、2つの人口推計の比較から住宅開発が将来の人口規模維持に寄与することが明らか。一方、景観に与える影響や急激な人口増によるインフラ整備が課題。

問 人口推計の前提条件で、住宅開発の他に違いはあるか。

答 ある。

問 ならば住宅開発が人口規模の維持に寄与するとは言い切れない。重要なのは人口減少率を小さくすること。景観に与える影響は長期的にはどうか。新築マンションも古くなる。

答 民間調査で分譲マンション戸数は約5700戸（令和2年）。その調査で本町はマンション化率42%で、全国主要行政区市町村

で22位。30位までの多くが大都市で、本町だけが異例。また、本町は築30年超えのマンションの割合が55%と上位の中で一番高い。これは将来の島本を想像する上で重要なポイント。全国的に住宅過剰が問題となっているが、本町ではどうか。

答 本町で住宅が過剰だとの認識はない。

問 だが、ここ10年本町の住宅数は世帯数を超過。建築物の高さ規制がほばないことが町の魅力を損なっているという危機感はあるか。

答 市街地の大半に高層マンションが建ち並べば自然と調和した魅力が失われる懸念はある。改定後の都市計画マスタープランでは高さ規制を検討する予定。

問 府道西京高槻線（西国街道）について、主にJR島本駅から高槻市方面の行政界までの区間は、これまで部分的な改善について種々要望してきた。この区間は、府道だが統一性が無く、歩道も途中で途切れているため、危険を感じながらの通行や、一部区間ではここ数年、事故も発生している。町として大阪府に対し要望を続けておられるが、回答や進捗状況を伺う。

答 大阪府と現地視察を行い、効果的な対策について検討していた。

問 安全確保のために一定の歩道整備が必要と考えるが、いかがか。

答 令和3年に歩道整備や勾配緩和について大阪府へ要望をした。引き続き協議を重ねていく。

問 高浜幹線について、

四小保護者の方々からは「いつか大事故が起きないか心配」や「起きてしまつてからは遅いのでは」などの声をいただいている。さらなる安全確保のための検討を要望するが、お考えを伺う。

答 グリーンベルトの路側帯を頻繁に通行する箇所についてはボストコーン等の設置で安全対策強化を、また通り抜け車両に対する速度抑制対策も高槻警察署と協議を重ねていく。

問 四小グラウンド沿いの直線区間に、ガードレール等設置できないか、見解を伺う。

答 道路幅員7mが必要となっており、確保できていないことから困難と考えている。

その他の質問事項
▼児童生徒への教職員等による問題行動（わいせつ行為）の対策

ガバメントクラウドについて

野口 日利美

道路行政について

山口 博好

住み続けたい街ランキングについて

伊集院 春美

問 本年9月1日にデジタル庁が創設され、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律が施行され、国が環境整備をするガバメントクラウドとは何か。

答 政府の情報システムについて、共通的な基盤、機能を提供する複数のクラウドサービスの利用環境のことである。国は、政令で定める事務処理システムを標準化し、地方公共団体は、ガバメントクラウド上に構築した標準仕様のアプリケーションを利用する。

問 ガバメントクラウドを活用することでシステムはどのように変わるのか。どのようなメリットがあるのか。

答 国の定める標準仕様がどのようになるか、また、開発業者がどのようなアプリケーションを開発するか等が明らかになるまでは、シ

ステムが具体的にどのようなに変わるかは把握できない。

メリットについては、サーバー、OS、アプリケーションを共同利用することによるコスト削減効果が見込まれる。ガバメントクラウドが提供する機能を活用し、情報システムの迅速な構築と柔軟な拡張が可能になり、住民に対し新たなサービスを迅速に拡張することができる。世界的にサイバーセキュリティ対策の必要性が増す中、同対策や運用干渉をガバメントクラウドがまとめて行うことで、各団体が個別に対策を行う必要がなく、最新のセキュリティ対策も導入しやすくなる。大規模災害時にあっても、行政情報等データの保全を図ることができ、業務の継続性を担保することができ。

問 広瀬桜井幹線の桜井五丁目の八幡川水路から、府道西京高槻線に出る道路は車1台しか通れないので、対向車と出くわした場合は、どちらかがバックしなければならぬ。JR西側の開発後、今以上に混むのではないか。

答 現時点では混雑への大きな影響はないものと考えているが、現状の道路幅員等を鑑み、長期的な課題であるものと認識している。道路管理者の大阪府と対応策について継続的に協議を行ってまい。

問 東大寺山崎1号幹線と府道柳谷島本線が交わる交差点では、コンピニエンスストア方面から左折する場合、車は大回りになり東大寺三丁目方面から来る車は停止線より前に停まらなければならず、歩行者が通るグリーンベルト上にはみ出し

て歩行者の通行を邪魔している。水路に蓋をすることにより道路の拡幅はできないか。

答 現時点では河川側への歩行空間確保に向けた抜本的な対策は困難だが、他の効果的な対策についても検討し、安全対策強化に努めてまいる。

問 東大寺山崎2号幹線の水無瀬橋から山ノ瀬橋までの水無瀬川左岸の歩道は、途中で無くなっている。緑地公園へ向かう道でもあり、安心して、誰もが歩ける歩道が必要だと思いが、いかがか。

答 植樹帯や河川区域の一部を活用した歩行空間の確保については、河川管理者の大阪府との協議をはじめ、当該区間の全体的な通行車両や歩行者の通行状況など、今後、経過観察等を行い、適切に判断してまいる。

問 いつ頃から調査か。

答 大東建託㈱賃貸未来研究所が2020年から実施。2020年は本町での回答者数が100人に満たずランキング外。

問 今回、他にどんなランキングがあったか、順位も添えて紹介を。

答 本町は、街の幸福度ランキングは9位、街に誇りがあるランキング15位、住心地ランキング90位、住みたい街ランキングは集計外。

問 対象者や調査方法。

答 調査会社に登録されているモニターを対象で、持ち家や賃貸など区別なく20歳以上という以外の制限はない。インターネット経由で調査票を配布、回収。2回調査が行われ累計。回答者数は。

問 住み続けたい街ランキングは2年間で78人。まちの幸福度ランキングは2019年か

ら3年間で139人。

問 偏差値と評点で評価が高かった項目は。

答 まちへの気持ちとして大阪府内1位で偏差値70を超え、生活利便性の偏差値64・4、家賃・不動産価格の安さが62・1、電車・バスの混雑度合いが80・5と高い評価。更に「公園や緑地等の充実度」と「ごみの収集頻度の高さ」で60超えの高評価。逆に低かった項目。

問 行政サービスの中で「保育園、児童館の充実度」は偏差値38・2。

問 街への気持ちという部分が押し上げられた感じだが、交通の利便性も評価があったが、どう捉えているか。

答 大阪や京都へのアクセスのよさがある立地に、阪急京都線の駅に加えJR島本駅が新たに設置されたことが、本町の交通の利便性に大きく寄与している。

利用頻度の少ない児童公園の在り方について

平井 均

問 児童公園61か所のうち、利用頻度の少ない児童公園の割合はどの程度か。

答 全体の約2割程度と認識している。

問 利用頻度の少ない児童公園においても、毎年遊具の点検や草刈り等の維持管理費用がかかっているが、どの程度の費用がかかっているのか。

答 公園全体で、約900万円支出。

問 利用頻度の少ない約2割の児童公園においても、毎年約180万円程度の費用をかけていると思うが、費用対効果を考えれば、地域の実情に応じて有効活用していただく取組が必要と考えるが、町の考えを伺う。

答 地域性を踏まえた公園整備を行う必要があると考えており、利用者の年齢層に合った遊具の整備やベンチ・

健康遊具の設置など、各公園の状況に応じた整備に努めたい。

問 地域性を踏まえた公園整備を行うのと、そのためには地域のニーズを把握する必要があると思うが、見解を伺う。

答 今年度、公園に関するアンケートを実施した。アンケートの調査結果から、年齢別や地域別のニーズの把握が可能であり、各公園の整備状況に併せて、地域性も踏まえた整備を考えている。

問 児童公園の整備のみならず「都市公園も含めた公園全体」の維持管理が必要と考えるが、見解を伺う。

答 公園全体の長寿寿命の視点を重視し、維持管理に努めたい。

その他の質問項目
▼島本高校の統合問題について

北部地区議長会議員研修会

令和4年1月19日（水）能勢町淨るりシアターホールで大阪府北部地区議長会議員研修会が行われ、13人の議員が参加しました。新型コロナウイルスの感染拡大が心配される中でしたが、感染予防対策を徹底し、京都府議会議員の北川剛司氏による「地域を巻き込む地方創生～住民とのコミュニケーション向上～」というテーマの講演をお聞きました。人の見方や感じ方の違いに合わせたコミュニケーションの取り方を学ぶことができ、大変有意義な研修でした。

編集後記

コロナウイルス感染症の発表がされてから3年目に入りました。1月19日の発表では1日あたりの感染者が全国で4万人を超えるなど、オミクロン株によると思われる感染が急拡大し、不安な日々が続いています。引き続きの感染予防対策をよろしくお願いいたします。編集委員会ではこれからも、よりわかりやすく親しんでいただける議会だよりになるよう努めてまいります。（N・H）

議会を傍聴しませんか

令和4年島本町議会2月定例会議

開議予定時間はいずれも 午前10時 です

本 会 議（役場3階議場）

2月28日（月）、3月1日（火）、2日（水）、4日（金）、25日（金）

総務建設水道常任委員会（役場3階委員会室）

3月8日（火）、9日（水）、10日（木）

民生教育消防常任委員会（役場3階委員会室）

3月14日（月）、15日（火）、16日（水）

※新型コロナウイルス感染防止のため、傍聴定員を減らしています。

